

INFORMATION

No. 1810-19

新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

■検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量/保存	検査方法	基準値	所要日数	実施料
4167	HPV簡易ジェノタイプ判定(9種)	LBC用容器(シェアパス)	/冷蔵	リアルタイムPCR	検出せず	4日～6日	360点
報告可能なHPV遺伝子型	個々に判定が可能な型グループ判定	・16型 ・18型 ・31型 ・45型 ・51型 ・52型 ・33型/58型 ・35型/39型/68型 ・56型/59型/66型 (裏面をご参照ください。)					

4499	オートタキシン	A	血清 0.5mL /冷蔵	FEIA	下記	3日～5日	194点
オートタキシン	基準値	①線維化進展例	②肝硬変	①より高い検体は肝線維化進展例と判定 ②より高い検体は肝硬変と判定 (裏面をご参照ください。)			
	男性	0.910 mg/L	1.690 mg/L				
	女性	1.270 mg/L	2.120 mg/L				

4500	ANA/ENAマルチプル10	A	血清 0.5mL /冷蔵	FIA	ANA (総合判定): (—)	4日～6日	
測定対象自己抗体	・抗dsDNA抗体 ・抗SS-A抗体(52kDa) ・抗SS-A抗体(60kDa) ・抗SS-B抗体 ・抗Sm抗体 ・抗RNP抗体(A) ・抗RNP抗体(68kDa) ・抗Scl-70抗体 ・抗Jo-1抗体 ・抗セントロメア抗体						

■受託開始日

平成30年 10月22日(月)より受託開始

株式会社 武蔵臨床検査所

*お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

■HPV簡易ジェノタイプ判定(9種)

子宮頸がんの検査はまず細胞診が行われ、ベセスタ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された場合に、高リスク型HPV感染の有無を調べる検査が実施されます。当該検査は、日本人女性に感染が多いといわれている33型、52型、58型の報告が可能で、16型、18型以外でCIN3(高度異型性・上皮内がん)以上への進展リスクが高いと報告されている31型、33型/58型、52型の判定も可能なことから、従来法と比べてより多くの付加価値情報をご提供することができます。

(ハイリスク型HPV14種類(遺伝子型)のうち、6種類を個々にジェノタイプ判定、残り8種類を3グループで判定※することが可能)

※ いずれか、または全ての型に感染している場合に陽性となります。グループ内のどの型に感染しているかは判別できません。

算定留意事項

- ・本検査は、予め行われた細胞診の結果、ベセスタ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者を対象として測定した場合にのみ算定できます。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できません。
- ・本検査をHPV核酸検出と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。算定にあたっては、厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局等への届け出が必要です。

■オートタキシン(ATX)

オートタキシン(autotaxin; ATX)は脂質メディエーターのひとつであるリゾホスファチジン酸の合成酵素です。血清ATXは主に脂肪組織由来と考えられており、他に胎盤や一部の腫瘍組織でも産生亢進が認められます。ATXは肝の類洞内皮細胞に取り込まれて代謝されるため、慢性肝疾患に伴う線維化の進行により内皮細胞に変化を生じるとATXの取り込みが減少する結果としてその血中濃度が上昇することから、血清ATXは肝線維化のよいマーカーとなります。

留意事項

- ・妊婦では週数が進むに従いATX濃度が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。
- ・悪性リンパ腫患者、進行した悪性腫瘍患者では、ATX濃度が高値となることが確認されています。また、重度の心不全患者でも高値を示す場合があります。
- ・副腎皮質ステロイドを服用している人ではATX濃度が低値を示す場合があります。
- ・肝炎ウイルスを原因としない慢性肝疾患においては、肝線維化ステージとATX濃度の関係がウイルス性肝疾患と異なる場合があります。
- ・線維化進展例は、C型肝炎治療ガイドライン(第5.4版)の「肝線維化F2以上」に相当します。

算定留意事項

- ア オートタキシンは、区分番号「D007」血液化学検査の「48」Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体の所定点数に準じて算定可能です。
- イ 本検査は、サンドイッチ法を用いた蛍光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定できます。
- ウ 本検査と区分番号「D007」血液化学検査「37」のプロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)、「38」のⅣ型コラーゲン、「40」のⅣ型コラーゲン・7S、「44」のヒアルロン酸又は「48」のMac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。